

ユニセフ出前講座 ……小学校、中学校はじめさまざまな団体や一般の方々を対象としています

現在の学習指導要領は、「生きる力」を育むという理念を掲げています。次代を担う子どもたちが生き抜くこれからの社会は、どのように変化するのでしょうか。まずは「今の世界」を知ることがたいせつです。ユニセフの学習会では、対象年齢や希望のテーマに応じて、内容を組み立てています。

テーマ：『世界へ目を向けよう！』（一例） 実施：大崎市立宮沢小学校（7月）、名取市立増田小学校（9月）
 内容：①日本の小学生の一日 美里町立不動堂小学校（9月）、名取市教育委員会（10月）
 ……毎日の生活を振り返る 登米市社会福祉協議会・南方支所&中田支所（7月、8月）

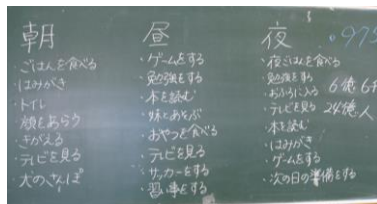
→日本の当たり前が、世界のあたりまえではない

②「ユニセフってなあに」

……ユニセフ視聴覚教材を利用し、世界の子どもたちの現状とユニセフについて学ぶ

③体験学習「水がめで水を運ぶ」「マラリア予防の蚊帳に入る」「下痢をした時の経口補水療法」

④展示：「地雷レプリカ」「ビタミンA」「プランピーナッツ®」「ワクチンボックス」「毛布」



←インタビューして聞き取ります



プランピーナッツ®



せんだい地球フェスタ 2017 9月18日(月・祝)

今年のテーマ：ここから生まれる素敵な出会い

宮城県内の国際交流や国際協力の活動をしている61団体が出展し、今年で26回目です。仙台国際センターを会場に7,300名が参加しました。ユニセフのブースでは、「ガチャポンde100円募金」「ユニセフ・マークと写真をとろう」「クイズ」などで活動を紹介。豪華プレゼントも用意しました。24,313円の募金協力がありました。ご協力くださいました皆さま、ありがとうございました。



チッキー
(マスコットキャラクター)



UNICafe～気軽なユニセフ入門講座～

10月14日(土)みやぎ生協文化会館ウィズにて15名が参加しました。①「ユニセフ入門編」では世界の子どもの現状とユニセフの活動をパワーポイントやビデオ「ユニセフと地球のともだち」を使っての学習 ②ワークショップ「インドの紙袋作り」から「児童労働」を考える ③ボランティア活動のご案内「できるときに、できることを」④昼食インド風カレーとチャイ ⑤お楽しみコーナー「ガチャポンde100円募金」



◆◆◆◆ 新情報 : 5歳未満で亡くなる子ども、年間560万人 ◆◆◆◆

2017年10月19日、国連が発表した新たな報告書によると、2016年には毎日約15,000人の子どもが5歳の誕生日を迎える前に亡くなり、その46%にあたる7,000人は生後28日以内に亡くなっています。2000年の約990万人から大きく減少しましたが、そのうち新生児が占める割合は41%から46%に増加したことを明らかにしています。新生児の予防可能な死亡削減へさらなる取り組みが必要です。

